

「不知火光右衛門」顕彰会

200年の誇りを未来へ
受け継がれています。

大津町が生んだ横綱

不知火光右衛門の

名は、今も町の

人々の手によつて

受け継がれています。

生誕200年
受け継がれる思い

顕彰会インタビュー



不知火光右衛門顕彰会



平成6（1994）年、大津町下
町区で有志が中心となって発足。区
内の60歳以上の住民が会員で、現在
は女性部を含めて約50人が所属する。

顕彰会は、光右衛門の命月である2
月に墓前祭を開き、神事のあとには
手作りのちゃんこ鍋を振る舞うのが
恒例。つつじ祭りや地蔵祭りなど、
町内の行事では展示や相撲甚句の披
露を行い、地域に伝わる相撲文化の
継承に力を注いでいる。また、町内
の小学校にある土俵を清掃するなど、
子どもたちが相撲に触れる環境を整
えている。



声にのせてふるさとを唄う
相撲甚句

不知火光右衛門顕彰会は、
不知火光右衛門の功績を今に
伝える活動を続けている。先
日は、小学校の地域学習で光
右衛門を紹介した。「そもそも
相撲を見たことがない子ども
がが多いことに驚いた。だか
らこそ、知るきっかけをつく
りたい」と会長の佐賀文男さ
ん。光右衛門の名を大津に
しっかり根づかせたい」と語
るのは、副会長の帆保信也さ
ん。近年は郷土力士の台頭
で相撲が再び注目される場面
も増えている。「地元の宝を、
地元の手で守る」その思
いが、顕彰会の活動を支える原
動力になっている。

不知火光右衛門のあゆみ

1825年
現・大津町下町に生まれる
(本名 原野 峰松)。

草相撲で名を轟かせた祖父の血を引き
優れた体力と力で他を圧倒。大阪で修行
後、江戸へ上り、殿峰五郎の名で幕下入り。

1856年
細川藩お抱え力士となり、翌年「不知火
光右衛門」と改名。

1863年
39歳で吉田司家より第十一代横綱免許
を受ける。幕内在位27場所中、優勝3回。
横綱として6年間在位。

1869年
引退し、大阪で不知火部屋を創設。

1879年
55歳で没。墓は大阪市と故郷・大津町下
町に建つ。

第十一代横綱 不知火光右衛門とは？



大津町下町に
横綱がいた！

相撲甚句「大津名所」の歌詞は
町ホームページで見ることができます。



▲ホームページは
こちら

展示物は
こちら

大津町歴史文化伝承館
(大津町大津1109番地)

開館時間：午前9時～午後5時
(最終入館午後4時半まで)

休館日：月曜日・年末年始
(12/29～1/3)

電話 096-293-4100
FAX 096-293-4101